

◆授業設計のポイント◆

- ・ 実生活と関連付けた場面を設定した授業の工夫
- ・ 協働的な言語活動を取り入れた授業の工夫

英語科学習指導案

学 級 3年4組(男子20名・女子20名 計40名)

場 所 3年3組教室(3年校舎2階)

授業者 教 諭 竹 内 絵 理 香

1 単 元 New Horizon: English Course 3 Daily Scene 3 さそい

2 単元について

本単元は、エリカの友人ユンホが家族とニューヨークへ遊びに来た設定である。その際、観光名所に行く予定のユンホがエリカを誘う内容である。基本表現は、人を「誘う」表現として、Would you like to～? を扱う。これは既習のLet's～. などよりていねいであり、かつ友達同士でも使えるので適用範囲が広い表現である。Tool Boxで扱うその他の表現も活用して、お互いの経験を踏まえながら、相手を誘い、提案し、待ち合わせの約束までできるやり取りを行う。

本学級の生徒は、男女の仲が良く、ペア活動やグループ活動では助け合いながら活発に活動できる。しかし、優れた英語力を身に付けている生徒がいる一方で、英語に苦手意識をもつ生徒も多く、その学力差の大きさが授業を行う上で課題となっている。特に、自信のなさから「話すこと」の活動へ消極的な生徒が見られるため、ペア学習によって確認を行いながら言語活動に取り組ませたい。

指導にあたっては、まずは本文の内容理解を通して、英語で人を誘ったり、提案したり、約束したりできる表現の仕方をしっかりと理解させたい。そして、いくつかの与えられた状況設定での会話練習をした上で、生徒自身の立場で誘ったり、誘われたりするスキットを作らせたい。それを十分に練習した上で発表させたい。しかし、それが単なる発表で終わらないように、グループ活動やペア活動の際にはアドバイザーの役割を設置したり、ペア同士でアドバイスタイムを設けたりして表現内容の高まりを生徒同士で図る授業を作り上げていきたい。また、グループ内でも役割分担をしっかりと行い、英語を苦手とする生徒へはヒントカード等で対応し、生徒一人一人が責任をもって能動的に学習に取り組むような工夫を図りたい。

3 単元の目標

- (1) 間違いを恐れずに積極的に相手を意識してコミュニケーションを図ろうとしている。
- (2) 人を誘ったり、提案したり、約束をしたりすることができる。
- (3) 相手の提案や約束の内容を聞き取ることができる。
- (4) 人を誘う表現の構造を理解し、その用法や意味を身に付けることができる。

4 単元の指導計画（全2時間）

【Goal of Daily Scene 3：英語を使って友達を誘ったり，約束したりできるようになる】（□は本時扱い）

時	主な言語活動	主な技能の統合	○ 実生活と関連付けた場面を設定した授業の工夫 □ 協働的な言語活動を取り入れた授業の工夫
第1時	基本表現の練習	S	○ 実生活の状況に合わせた基本表現のパターンプラクティスを行う。 □ 本文内容のキーワードの部分だけを変更し，ペア活動で練習する。
	本文の内容理解 言語活動1	S	
第2時	言語活動への導入		○ 学習した表現を実生活の場面で使うことをイメージさせる。 □ STシートを活用し，ペアで誘いの場面で使う表現の口頭練習を行う。 □ ペアで協力して独自のスキットを作成し，発表する。
	言語活動2	S・L	
	言語活動3	S・L	

5 単元における評価規準

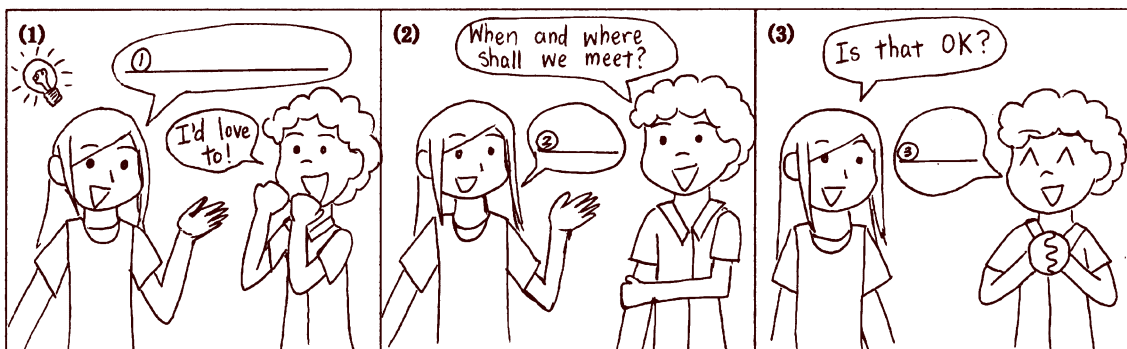
I コミュニケーションへの関心・意欲・態度	II 外国語表現の能力	III 外国語理解の能力	IV 言語や文化についての知識・理解
(言語活動への取組) ア 相づちをうったり，メモを取ったりするなど，相手の話に関心をもって聞こうとしている。 イ 間違いを恐れず積極的に相手を誘い，約束をしている。 ウ 積極的に相手の意向を理解し，状況に応じた返答を行っている。 エ ペアで協力して会話文を作成し，意欲的に発表している。	(正確な音読) ア 正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて音読することができる。 (適切な発話) イ 適切な音量や明瞭さで話すことができる。 ウ 状況に応じた誘いの対話ができる。 (適切な筆記) エ 語句や表現の知識を活用して，状況に応じた誘いの表現を書くことができる。	(正確な聞き取り) ア 強勢やイントネーション，区切りなどの特徴を捉えて聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) イ 相手の意向や情報を正しく聞き取ることができる。	(言語についての知識) ア 基本的な強勢やイントネーションなどの違いを知っている。 イ 誘いに関する表現の知識を身に付けている。 ウ 状況に応じた誘いの会話文を構成する知識を身に付けている。

《Can-Doリストとの関連》

	相手を誘ったり，提案したり，約束したりすることができる。	相手の提案や約束の内容を聞き取ることができる。	
--	------------------------------	-------------------------	--

6 到達目標問題

(1) 次の絵の吹出しに自然な対話になる英文を書きなさい。ただし，①の部分は相手を誘う文にすること。



- 解答例) ① Would you like to play tennis with me?
 ② Let's meet at Tenmonkan Park at two.
 ③ That's perfect.

7 本時の実際 (2 / 2)

(1) 題 材 Daily Scene 3 さそい

(2) 目 標

- ア 間違いを恐れずに積極的にコミュニケーションを図り、相手を誘おうとしている。
 イ 人を誘ったり、提案したり、約束をしたりすることができる。
 ウ 相手の提案や約束の内容を聞き取ることができる。
 エ 人を誘う表現の構造を理解し、その用法を身に付けることができる。

(3) 授業設計の工夫

ア 実生活と関連付けた場面を設定した授業の工夫 研究の視点1

誘ったり、提案したり、そして約束をすることは生徒たちの日常の中でもしばしば行われる。今回の言語活動を単に基本表現を習得する授業の一環としてではなく、生徒自身の日常や未来の姿を想像させることによってコミュニケーションツールとして英語を使わせていきたい。実際に、鹿児島でもグローバル化が進み、観光客はもちろんのこと、この地で生活している外国の方々とも触れ合う機会も多くなってきた。今後、様々なコミュニティの中でそのような機会をもつことが予想される。生徒たちにとって、一個人として相手を誘いたいと強く思うような場面設定をすることで、相手の意向に沿って誘うことができるようになるのではないかと考える。

イ 協働的な言語活動を取り入れた授業の工夫 研究の視点2

Speakingを中心とした単元であるため、相手を意識することを大切にしてグループやペアで活動させていきたい。まず始めに、与えられた状況に合わせた対話を行わせ、考え方や表現の基本パターンを定着させたい。次に、生徒自身にペアで協力させながら相手を想像して伝えたいと思う内容を表現できるようにさせたい。その際に、単なる英文作成のペア活動に終わることなく、アドバイスタイムを取り入れることにより表現内容の練り上げを図る活動にしたい。

(4) 展開

時間 (分)	学習過程	主な学習活動	○ 指導上の留意点 ◎ 評価 ※ 授業設計の工夫
8	1 Greetings	1 英語であいさつをする。	○ 元気よく、大きな声で行う。
	2 Warm-up	2 Warm-upをする。	○ 英語の雰囲気作りをする。
	3 Introduction	3 日本を訪れる外国人観光客や留学生について知る。	※ 日本の実情を知り、前時の学習内容等を実生活で使うイメージをもつ。 研究の視点1
	4 Today's Goal	4 本時の学習目標を確認する。	○ 本時の課題を明確にさせ、意欲的に学習に取り組ませる。

37	5 Practice	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>留学生を英語で誘い、待ち合わせをしよう。</p> </div> <p>5 STシートを活用し、誘いの場面で使う表現をペアで練習する。</p>	<p>※ 与えられた時間の中でお互いに工夫しながら繰り返し練習し、定着を図る。</p> <p style="text-align: right;">研究の視点2</p> <p>◎ 誘いに関する語句や表現の知識が身に付いているか。(IV-イ)</p>
	6 Activity	<p>6 留学生を誘う場面の対話をペア活動で行う。</p> <p>(1) 相手の留学生の設定だけを教師が配付し、その相手を意識してペアで協力しながら会話設定を考えさせ、対話を作成させる。</p> <p>(2) 近くのペア同士で対話を見せ合い、アドバイスをする。</p>	<p>※ 相手を誘う場面をペアで協力して設定し、それに適した対話を作りあげる。</p> <p style="text-align: right;">研究の視点2</p> <p>○ 一人一人が活動内容をしっかりと把握できるように配慮する。</p> <p>○ 積極的に活動するよう机間指導をしながら声をかける。活動が滞るペアにはヒントカードを与える。</p> <p>◎ ペアで協力して状況を設定し、対話文を作成し、意欲的に発表しているか。(I-ア)</p> <p>○ 他のペアの発表を見たり、アドバイスをもらったりすることで、対話表現の練り上げを図る。</p>
	7 Presentation	<p>7 いくつかのペアが発表し、その内容に関する質問に答える。</p>	<p>◎ 発表内容を正しく聞き取ることができたか。(III-イ)</p>
5	8 Reflection	<p>8 Reflection Sheetに記入する。</p>	<p>○ 本時の活動を個人で振り返らせる。</p>
	9 Assignment	<p>9 次時の予告と宿題の内容を確認する。</p>	<p>○ 本時で作成した対話文を書くことと、新出単語の意味調べ等の課題を伝える。</p>
	10 Greetings	<p>10 英語であいさつをする。</p>	<p>○ 元気に大きな声で行う。</p>